

問題 No.1

わが国の商業生成に関する次の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. 小売業-----江戸時代
2. 問丸-----鎌倉時代
3. 楽市・楽座-----安土・桃山時代
4. 都における東西市-----室町時代

【解説】

「都における東西市」は、奈良時代。「問丸」は鎌倉時代、「楽市・楽座」が安土・桃山時代、そして「小売業」は、江戸時代に夫々発達した。

答 4

---

問題No.2

わが国における小売業態と第1号店の組み合わせに関する次の記述うち、最も不適当なものはどれか。

1. ディスカウント・ストア ----- ダイクマ
2. デパートメント・ストア ----- 三越呉服店
3. コンビニエンス・ストア ----- セブンイレブン
4. スーパーマーケット ----- ダイエー

【解説】

わが国初のスーパーマーケットは、1953年（昭和28年）11月28日、東京・青山に開店した「紀ノ国屋」といわれている。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.12～16参照

答 4

---

問題No.3

文明を構成する要素としては、普遍性、合理性、機能性、人工的等があり、文化はその反対の要素を持つものである。商業における、文明、文化に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 暖簾のかかった老舗は文化
2. 着物は文明
3. お茶と和菓子は文化
4. コカコーラとハンバーガーは文明

答 2

---

問題No.4

次の記述の  あてはまる語句として、最も適当なものはどれか。

『家訓、社是、社訓の「カ・キ・ク・ケ・コ」は、日本の企業が持つべき商道德の原点であり、また現代でも生き続ける知恵である。カは感謝、キは勤勉、クは工夫、ケは儉約、コは  である。』

1. 根気
2. 貢献
3. 行動
4. 根性

答 2

---

問題No.5

「中心市街地活性化法」の主たる改正点に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 中心市街地活性化協議会の法制化
2. 基本理念・責務等の明確化
3. 選択と集中の考え方に則<sup>のっと</sup>った支援
4. 基本計画の市町村による認定

【解説】

国〔中心市街地活性化本部〕は、改正法に関する基本方針やマニュアルを作成・公表。これに基づく基本計画を市町村が作成し、これを国〔本部長・内閣総理大臣〕で認定をする。

答 4

---

問題No.6

次の文章に該当する施設の面積を規定するもののうち、最も適当なものはどれか。

『改正都市計画法では、郊外への都市機能の拡散を抑制する目的で、床面積 10,000 m<sup>2</sup> を超える大規模集客施設の立地可能な用途地域の見直しがおこなわれた。』

1. 営業面積
2. 延床面積
3. 売場面積
4. 実効面積

【解説】

2. 大店立地法等でも慣用的に使われる「面積」ではある。

答 2

---

**問題No.7**

「地域商店街活性化法」の施行に伴い、中小企業関係4団体によって設立された法人で、人材研修、起業支援、支援人材の派遣、活性化手法・ノウハウの提供・普及などを担当するところがある。次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. ㈱全国商店街活性化センター
2. ㈱全国商店街支援センター
3. ㈱まち・商店街活性化センター
4. ㈱元気な商店街支援センター

**【解説】**

2009年8月に施行された、「商店街の活性化のための地域住民の需要に応じた事業活動の促進に関する法律」により、㈱全国商店街支援センターは活性化を担う人材の育成、専門家の支援派遣など、ソフト面での支援活動を行う。

答 2

---

**問題No.8**

循環型社会形成推進基本法に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 中心市街地活性化法の一部であること
2. 改正大規模小売店舗立地法に関係すること
3. まちづくりに関係する法律のこと
4. 改正リサイクル法に関係すること

**【解説】**

2000年5月26日「循環型社会形成推進基本法」が成立し、同31日には「改正再生資源利用促進法〔改正リサイクル法〕制定

答 4

---

**問題No.9**

2009年6月に、消費者の視点から消費者政策全般を監視する機関として消費者庁が発足した。消費者庁が所管する法律のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 景品表示法
2. PL法
3. 消費生活センター法
4. 個人情報保護法

**【解説】**

「国民生活センター」は独立行政法人国民生活センター法に基づき設置されるが、「消費生活センター」は

消費者安全法により都道府県に設置義務を、市町村に設置の努力義務を課して設置されている。国民生活センター:事業仕分けの一環で消費者庁に機能移管し、廃止の検討にも挙げられている独立行政法人の所管。

答 3

---

**問題No.10**

公共施設等で見かけるAED（心臓救命装置）の設置に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 10,000 m<sup>2</sup>以上の大規模小売店舗では、設置義務が法律で定められている
2. 新幹線「ひかり」にはAEDが設置されていない
3. 大学や駅、公共の場所を中心に、設置しなければならない
4. 商業施設には、設置義務が法律で定められていない



**【解説】**

公共施設の管理者及び事業主に対しAEDを設置の義務はない（2007年時）

答 4

---

**問題No.11**

広告プランに関する次の記述のうち、最も適当なものをどれか。

1. 広告プランは、メディア計画よりも上位に位置する
2. 広告プランは、企画ができあがったことで完了する
3. 広告プランの中で、最も重要なものは広告制作予算である
4. 広告プランの中で、プランは市場環境分析を前提として作られる

答 4

---

**問題No.12**

次の文章の  に該当する語句として、最も適当なものはどれか。

『ロジスティクスとは、物流において顧客の要求に適合させるために、生産地から消費地までのモノの流れと保管、また関連する情報について、全体の最適化を目指し、計画、実施、するシステムといえる。』

1. 運用
2. 管理
3. 統制

4. 稼働

答 3

---

問題No.13

故ケネディ大統領の「消費者利益の保護に関する特別教書」に示されている消費者の4つの権利に含まれているものは、次のうちどれか。

1. 合理的な価格で商品を買うことができる権利
2. 意見が聴かれる政府や企業の政策に反映される権利
3. 環境が守られ健康な生活を享受することができる権利
4. 商品の適正な品質や表示が守られる権利

【解説】

1962年ケネディ大統領が、「消費者の利益の保護に関する特別教書」を発表した。1968年5月に制定された「消費者保護基本法」の根拠法となり、2009年に内閣府消費者庁が設立された。

答 2

---

問題No.14

一般的に、「モノ商品」と比較した場合に、「サービス商品」は特有の特性があるといわれている。「サービス商品」の特有の特性に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 取引の不可逆性
2. 商品の無形性
3. 生産・消費の不可分性
4. 在庫の貯蔵性

答 4

---

問題No.15

「全ての人のためのデザイン」の意味であるユニバーサルデザイン（UD）は、高齢化社会に向かい重要度を増しているが、次の記述のうち、「UDの7つの原則」に含まれないものはどれか。

1. 必要な情報がすぐに理解できること
2. 「危険」は赤、「安全」は白を基本とすること
3. 使う上で自由度が高いこと

4. 使い方が簡単で、すぐ分かること

答 2